

(社)土木学会 地盤工学委員会
斜面工学研究小委員会

委託出版企画書(ブルーバックス)案

書名：仮題(「斜面国日本」・・・)

書籍 1万部

キーワード：都市、防災、安全、安心、地震、豪雨(洪水、浸水、温暖化)

参考図書タイトル (amazon、売れている順)：

「彼女を守る 51 の方法—都会で地震が起った日」「安全と安心の科学」「あなたは生き残れるか？一大震災生存の達人」「アウトドア流防災ブック—地震・災害ノウハウと道具が家を守る」「大地震—家族と自分を守る防災マニュアル」「東京直下大地震生き残り地図—あなたは震度 6 強を生き抜くことができるか？」「耐震補強—地震に強い家を実現する改修のノウハウ」「マンションの地震対策」「あなたの命を守る大地震東京危険度マップ」「親子のための地震安全マニュアル—家庭で備える地震対策最新情報」

図書の位置づけ：・○新規 ・既刊図書の続編 ・既刊図書の改訂版

出版の目的：(社) 土木学会からの既刊本「知っておきたい斜面の話Q&A—斜面と暮らす」の内容を一つのストーリーに沿って編集・改訂し、都市および地方の平地や斜面に暮らす人々に対して、安全・安心な生活を守るために防災知識と最新の防災・減災技術を理解し、関心を持っていただき、土木学会の委員会活動の成果を広く社会に還元することを目的とする。特に高校生や中学生に対しては、土木技術が地震や豪雨から人命や構造物を守るのにいかに貢献しているのかを解説し、土木工学の大切さやその魅力をPRする。

目次(内容と構成)

第一部 都市防災→対象読者層：都市近郊の平野部の居住者(中学生・高校生～サラリーマン、通勤通学時に書店に立ち寄る方をターゲット)

1. 地震の被害とその対策～阪神淡路大震災

住居(マンションなど)の耐震性と耐震補強

宅地地盤の脆さ

学校やオフィスの耐震性

道路や鉄道の耐震性(帰宅困難の場合どうするか?)

地震保険の仕組み ほか

2. 豪雨の被害とその対策～長崎豪雨、広島災害、新潟・福島豪雨、福井豪雨

最近の集中豪雨と温暖化

都市を襲った斜面災害（43）

洪水と浸水

ダムや堤防の話 ほか

第二部 斜面防災→対象読者層：中山間地域の居住者

3. 地震の被害とその対策～鳥取県西部地震、新潟県中越地震、福岡県西方沖地震

地震による斜面災害（41）

崖崩れ（45, 46）

谷埋め盛土や傾斜地盤の崩壊（40）

河道閉塞による地すべりダム

道路寸断による集落の孤立

高速道路の寸断

新幹線の脱線

避難生活とエコノミークラス症候群 など

4. 豪雨の被害とその対策～平成16・17年の台風災害

豪雨による斜面災害（39）

災害と降雨（33, 36, 48, 58）

崖崩れの特徴と対策（29, 34, 35-37, 49, 68）

土石流の特徴と対策（31, 64, 66）

落石の特徴と対策（30, 68）

地すべりの特徴と対策（29, 34, 50, 67）

高潮・竜巻被害

土砂災害防止法

近くの危険箇所

天気予報の見方

警戒避難基準

避難の方法と災害時要援護者（36）

ハザードマップ（85, 86） ほか

植物学研究会

委託出版を希望する理由：ブルーバックスの知名度と販売網が広いため

以上

ブルーバックス

斜面工学研究小委員会

委託出版企画書（土木学会）案

書名：未定

図書の位置づけ：・新規　・既刊図書の続編　・○既刊図書の改訂版

出版の目的：既刊本「知っておきたい斜面の話Q&A－斜面と暮らす－」の一つの分野（例えば防災）を一つのストーリーに沿って編集・改訂し、一般の方には総合科学としての斜面工学の使命とその重要性について豊富な写真や図表を通じて理解し関心をもっていただくこと、また専門の方には最新の知見や技術に関して体系的に整理された教科書として利用されることを目的とする。

対象読者層：実務者、企業や官公庁の研究者、大学の研究者、学生（土木学会会員がメイン）

内容：中越地震の話（Q&A と重点研究報告書を合わせたダイジェスト版で読み物のイメージ）→全調査箇所地図、災害学習マップの綴じ込み、カラー写真での各地点の経時変化、リモートセンシングやレーザープロファイラーなど最新の計測解析技術など

総合科学としての斜面工学とは（Q&A）

地震が起こす斜面災害（Q&A）

地震災害のモニタリング（重点研究；自然斜面、人工斜面、道路・鉄道、植生／生態系、廃棄物など）

災害復旧のあり方（土木学会討論会）

予測や判断のケーススタディ（土木学会討論会）

日頃の防災活動（ハザードマップや災害学習マップの作成など）

宅地地盤の安全性

災害廃棄物と3R、合意形成、防災教育、警戒避難基準ほか

以上

